

- tive processes in meteorology and climatology, Elsevier, Amsterdam, 134-136.
- Paszyński, J., 1964: Topoclimatological investigations on heat balance, *Polonica*, 2, 70-77.
- Price, J.C., 1980: The potential of remotely sensed thermal infrared data to infer surface soil moisture and evaporation, *Water Resour. Res.*, 16, 787-795.
- Rosenberg, N.J., B.L. Blad and S.B. Verma, 1983: *Microclimate*, John Wiley & Sons, 134-139.

- Simiu, E. and R.H. Scanlan, 1978: Wind effects on structures, John Wiley & Sons, 45-47.
- Sutton, O.G., 1953: *Micrometeorology*, McGraw-Hill, 232-233.
- Swinbank, W.C., 1963: Long-wave radiation from clear skies, *Q.J. Roy. Met. Soc.*, 89, 339-348.
- 竹内清秀・近藤純正, 1981: 大気科学講座 1 地表に近い大気, 東大出版, 4章.
- 坪井八十二編, 1977: 新編農業気象ハンドブック, 養賢堂, 東京, 81-87.

NEWS

世界の異常天候とその影響評価 (27)

(Climate Impact Assessment, May, 1986, NOAA/NESDIS)

1. 合衆国一干ばつ

5月後半の大雨は、ミシシッピ、アラバマ、テネシー、ジョージア等合衆国南東部の厳しい干ばつ状態を緩和した。これにより、穀物は救われ、火災の可能性が減じた。しかしながら、いくつかの地域では多くの雨がもっと必要である；ヴァージニア北部は今世紀最も乾燥した春であった。

2. イラン一大雨

5月3日から6日にかけての大雨はイラン中央部に洪水をもたらし、これによる死者は26名、損害は3,000万ドルと報じられている。

3. タイ一大雨

2日間で400 mm という豪雨は、バンコクの都心部に大洪水をひきおこした。しかしながら、被害は都市域に限られ、主要穀物の被害は無かったものと思われる。

4. ヴェトナム一大雨

北部では雨の多い天候が続き、穀物に被害があった。丘陵地域の大雨は局地的な洪水をひきおこし、より広範囲な5月末頃の大雨は北部デルタ地域に被害をもたらした。



5. フィリピン一干ばつ

主要穀物であるトウモロコシに好ましくない乾燥した天候が続き、南部で植え付けを遅らせ、植え付けの終わった畑に影響を与えた模様である。トウモロコシの植え付け時期は月末には半ばが過ぎており、今のところ救い難い。

6. ソロモン諸島一台風

台風 Namu が5月19日襲来し、死者71名、91,000名が家屋を失ったと報告されている。総降水量は350 mm (14インチ) に達した。

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。
(気候変動対策室 田宮兵衛)